

## 紀伊半島における台風災害の調査について

台風 12 号と 15 号による紀伊半島の豪雨災害の調査・研究を目的として、砂防学会内に委員会を設ける。運営・活動方針は以下の通りである。

1. 平成 23 年の台風による紀伊半島土砂災害調査委員会（仮称）を設け、委員長を松村和樹京都府立大学教授とする。
2. 調査期間は平成 23 年度後半～24 年度の 1 年半とする。
3. 国交省近畿地方整備局との協定を有効に活用する。
4. 被災地域が広範に及ぶことと、各災害エリアが独立した立地にあることから、被災地域を 3 つの地区に分けて、それぞれを担当する班を編成する。
  - (1) 田辺・日高地区（主担当：藤田正治）
  - (2) 十津川地区（主担当：松村和樹）
  - (3) 紀伊半島南部地区（主担当：山田 孝）三重県宮川流域・紀宝町、和歌山県那智勝浦町
5. 参加予定メンバー
  - (1) 藤田正治（京都大学）
    - 里深好文（立命館大学）
    - 堤 大三（京都大学）
    - 中谷加奈（京都大学）
    - 地頭菌隆（鹿児島大学、研究開発部会）
    - 今泉文寿（筑波大）
    - 島田 徹（国際航業(株)、研究開発部会）他に 5 名参加予定
  - (2) 松村和樹（京都府立大学）
    - 小杉賢一郎（京都大学）
    - 藤本将光（京都大学）
    - 宮田秀介（京都大学）
    - 堀田紀文（筑波大）
    - 五味高志（東京農工大学、国交省助成研究班）
    - 地頭菌隆（鹿児島大学、研究開発部会）
    - 権田 豊（新潟大学、研究開発部会）
    - 川勝祐里（京都府立大学）
    - 馬淵 泰（高知工科大学）

- 鈴木浩二（中日本航空(株)）
- (3) 山田 孝（三重大学、研究開発部会）
- 石川芳治（東京農工大学、深層崩壊委員会）
- 林 拙郎（三重大学）
- 権田 豊（新潟大学、研究開発部会）
- 竹林洋史（京都大学）
- 地頭菌隆（鹿児島大学、研究開発部会）
- 沼本晋也（三重大学）
- 土屋 智（静岡大学、深層崩壊委員会）
- 森島茂昭（日本工営(株)、研究開発部会）
- 長山孝彦（日本工営(株)）
- 池島 剛（日本工営(株)）
- 萩原陽一郎（日本工営(株)）
- 松岡 暁（日本工営(株)）
- 岩佐直人（日鐵住金建材(株)）他に自然斜面安定度評価研究会から数名参加予定

- \* 国土技術政策総合研究所（岡本 敦、研究開発部会）より適宜参加
- 土木研究所（小山内信智、深層崩壊委員会）より適宜参加
- 山口真司（国土交通省砂防部）国や県との連携担当
- 川邊 洋（新潟大学、研究開発部会）調査委員会事務局